

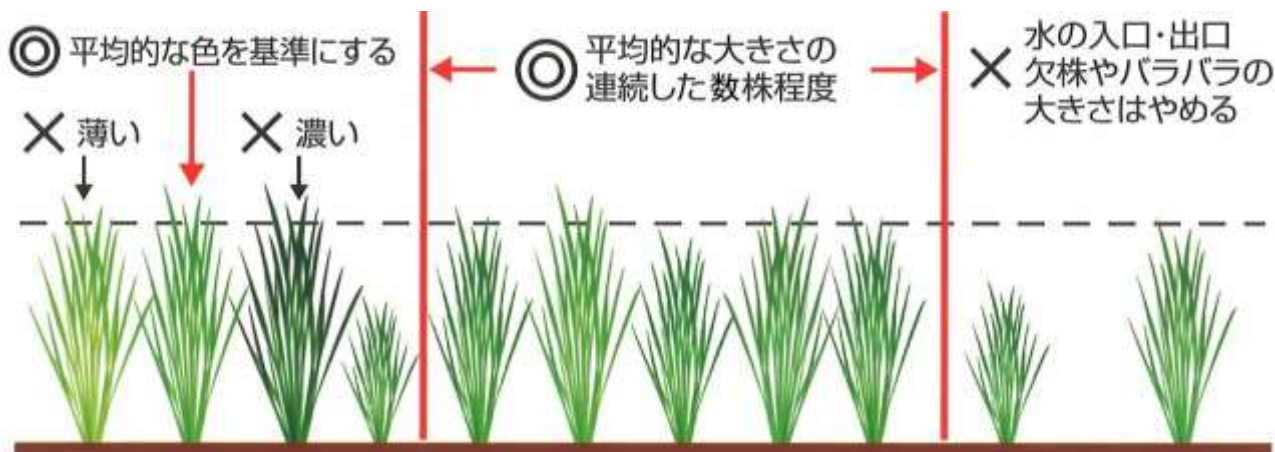
佐渡米未来プロジェクト穂肥指導会資料

中干しによって太くなった茎に大きく充実した穂をつけるため、稲の状態をよく観察し、適期適量の穂肥施用を行いましょう！

1. 穂肥前の生育診断

同じ品種でも田植え時期、植え傷みの程度、苗質、地力の違い、施肥管理などで出穂期、また穂肥の散布量が変わってきます。穂肥散布の前に必ず生育診断を実施しましょう。

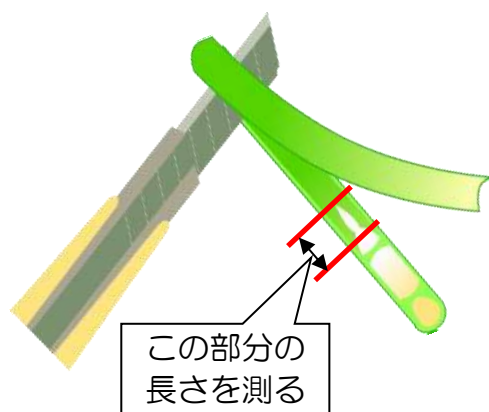
☆まずは生育診断する株を決めましょう！☆



(1) 穂肥時期（出穂前日数）を把握するため幼穂長を測定する

幼穂の測り方

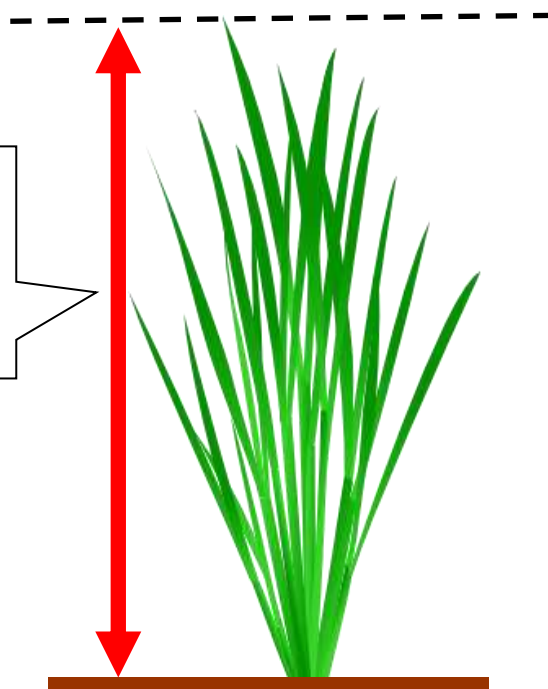
- ①平均的な生育の株を選ぶ
- ②株の中で一番長い茎を選び株元から抜く
- ③カッターで半分に裂き、一番上がっている節の上にある幼穂の長さを測る。



(2) 穂肥散布の有無、穂肥量を決めるため草丈・葉色を測定する

草丈の長さの測り方

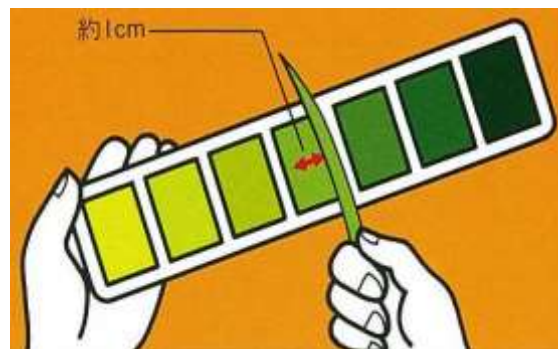
- ①垂れている葉を垂直に起こす
- ②田面から葉の先端までの長さを測る



葉色の測り方

現在伸びている葉

- ①平均的な生育の稲で最も長い茎を選ぶ
- ②その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ
- ③葉色板から1cm程度離して色を比較する



2. コシヒカリ穂肥施用の判断（分施体系）

- 穂肥は登熟を良好にし、品質・収量を安定させるために重要な作業です。
- 穂肥は2回に分けて実施しましょう。

1回目→「草丈・葉色を調査診断し慎重に実施」

2回目→「後期栄養を考え確実に施用」

※ 曇天や雨が長期に渡る場合、草丈が伸びやすい傾向となります。

（1）幼穂長と出穂前日数のめやす

出穂前日数	幼穂の長さ
25日	0.1cm
20日	<u>0.5cm</u>
18日	1.0cm
12日	5.0cm



幼穂の長さが0.5cm(出穂20日前)の 때가
【1回目の穂肥適期】です！

この時の草丈・葉色を調査し、
穂肥施用量を決めましょう！



コシヒカリ1回目穂肥施用のめやす		【出穂20日前の草丈と葉色診断結果により判断】		
		葉色（カラスケール単葉）		
		3.5以下	3.5～4.0	4.0以上
草丈（cm）	70以下	◎	○	△
	70～75	○	○	△
	75以上	△	△	×

- ◎→葉色が褪めている場合、散布時期を早める
- 窒素成分で最大1.0kg/10a 散布
- △→散布時期遅らせる、もしくは量を減らす
- ×→1回目は散布しない

（2）穂肥の施用量めやす

肥料名	施肥量目安 (全窒素含有量)	肥料の特徴
越後の輝き 有機50穂肥	8～10kg/10a (0.96～1.2kg)	化学窒素の割合が多いので、早めに吸収される
※ 味好2号	15～20kg/10a (1.05～1.4kg)	100%有機物由来なので分解吸収までに時間がかかり、早く施用する必要がある。

※ 味好2号を1回目の穂肥として使用する場合は出穂25日前頃の施用が目安。2回目は施用時期が遅れると、玄米タンパク質含有量が高まる場合があるので、遅くとも出穂10日前までには施用しましょう。

(3) 穂肥の施用適期

・ 1回目の穂肥について

- 出穂20日前（幼穂長 0.5cm）

・ 2回目の穂肥について

- 出穂12日前（幼穂長 5cm）

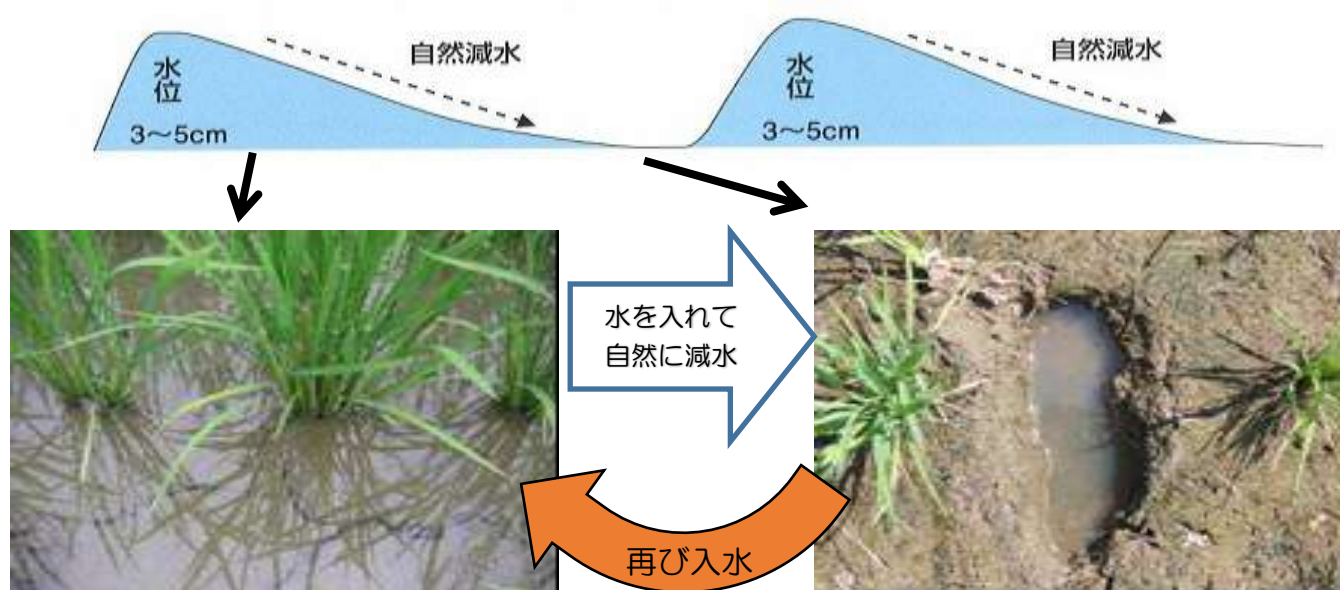
※一発基肥の穂肥施用について

- 基本的に穂肥施用の必要はありません。
- 葉色が薄い場合のみ、出穂12日前頃に味好2号（15kg/10a まで）等の肥料を施用する。

※登熟期高温年の品質低下を軽減するため、ケイ酸資材を散布されていない方は1回目の穂肥のタイミングに散布をお願いします！

3. これからの水管理のポイント

これから9月上旬までは「間断かん水」で根の健全化と登熟に必要な水分補給に努めましょう



自然に減水し、溝や足跡だけに水がたまっている状態になったら、再び3~5cm 入水します。

・ みどりの畦畔（あぜ）づくり推進中！

佐渡米ブランド確立のため全生産者をあげて

みどりの畦畔づくりに努めましょう！

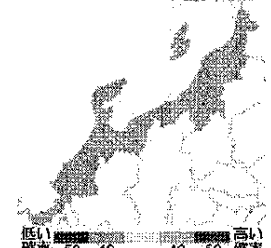
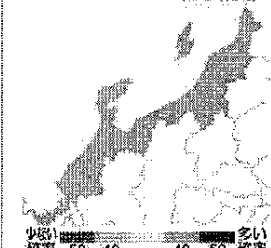
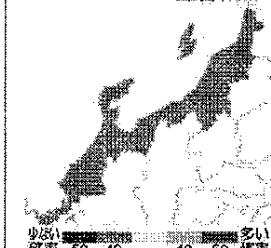
向こう 1 か月の天候の見通し
北陸地方（7 月 6 日～8 月 5 日）

新潟地方気象台

予報のポイント

- 期間の前半は、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。
- 2 週目は、オホーツク海高気圧からの冷たい空気や、曇りや雨の日が多い影響で、気温は低いでしょう。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
北陸地方	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み
 数値は予想される 出現確率です。			

週別の天候

（1 週目） 7/6～12	（2 週目） 7/13～19	（3～4 週目） 7/20～8/2
前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/jp/week/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

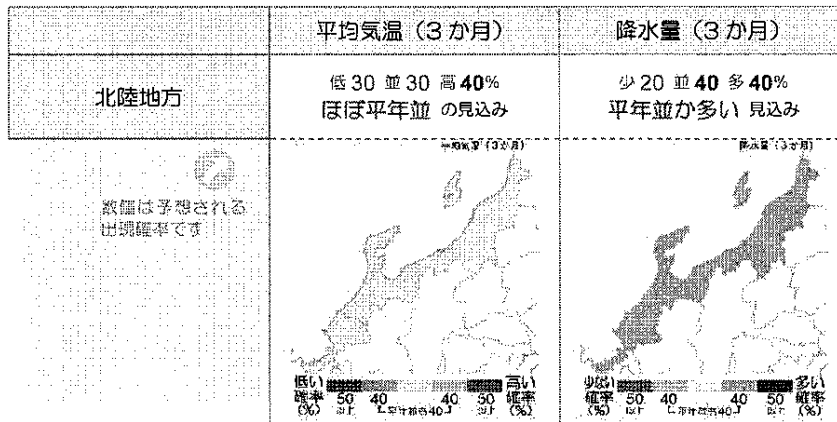
向こう3か月の天候の見通し 北陸地方 7月～9月

新潟地方気象台

予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は平年並か多い見込みです。なお、7月は前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

3か月の平均気温・降水量



月別の天候

7月	8月	9月
前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	高気圧と低気圧が交互に通過し、平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。

季節予報は、予報の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。